

「京都府観光総合戦略の改正案」（中間案）に対する意見募集の結果について

意見募集期間：令和5年3月17日（金）～4月14日（金）
寄せられた意見：6人の方から9件の意見をいただきました。

項目	意見の要旨	京都府の考え方
全般	ポイントは毎年度の具体的な取組だと思う。とりわけ万博をにらんで府の指導に期待している。また、今後の少子高齢化の中、「交流を支える基盤整備」がより一層重要。	戦略に定めた基本理念や対応方向に沿って、大阪・関西万博を契機とした京都への誘客や宿泊施設等の交流基盤の整備など、毎年の具合的な施策を進めてまいります。
観光の高付加価値化	観光コンテンツの高付加価値化を推進すると共に、「支払い能力のある上質な観光サービスを求める旅行者」への高付加価値商品の開発を進めるべき。その際、適正な対価を収受し、事業者も潤うようにすべき。	戦略にも「地域の資源を活かした高付加価値なコンテンツの開発等」を記載しているところであり、事業者の利益率の向上等につながるよう、京都観光の高付加価値化の取組を進めてまいります。
滞在型観光の推進	滞在型の旅行者数を意識的に増やす必要がある。訪日外国人の数は増やしてもいい。特に京都市以外のエリアはまだ、キャパシティーがあると思うが、質とのバランスは考えるべき。	旅行者が一定期間、滞在することにより、地域との交流機会の拡大や観光消費額の増加が見込まれることから、滞在型の旅行者数を増やす取組を進めてまいります。
	訪日外国人は回復傾向にあるが、他府県に宿泊し、日帰り観光も少なくない。早朝や夜間の特別拝観や夜間での体験も推進することにより宿泊を促すべき。また、対価も十分に収受すべき。	御意見を参考に、市町村や観光事業者と連携しながら、夜間に楽しめるコンテンツの充実等に努めてまいります。
観光人材の育成	観光に従事する人材の育成と待遇改善も早急に進めるべき。	御意見を参考に、持続可能な観光に向けて、京都の観光産業を担う人材の育成や就労環境の改善に努めてまいります。
移動手段の整備	京都丹後鉄道や一部のバス路線は、兵庫県や福井県など、隣接する府県まで運行されていることや、北近畿エリアに近いコウノトリ但馬空港の活用の可能性も含め、「…交通事業者や市町村と連携した…」を、「…交通事業者や市町村、隣接府県等と連携した…」としていただきたい。 また、街歩きが安心してできるよう、感知式を併用した歩車分離信号化や歩道の整備等を進めていただきたい。	ご指摘を踏まえ、「…交通事業者や市町村、隣接府県等と連携した…」(P34)に修正いたします。また、関係部局等とも連携し、観光客も含めた誰もが安全・快適に通行できる環境の整備を進めてまいります。

「京都府観光総合戦略の改正案」（中間案）に対する意見募集の結果について

意見募集期間：令和5年3月17日（金）～4月14日（金）
寄せられた意見：6人の方から9件の意見をいただきました。

項目	意見の要旨	京都府の考え方
対象期間	対象期間は長期2023年～2040年とあるが、長期は通常10年、場合によっては2年が通例であり、長期設定を再検討すべき。また、案の長期にすべき難題は何か。	戦略の対象期間は、京都府総合計画と同様に、2023年から2026年といたしました。なお、京都府総合計画の分野別基本施策に「2040年に実現したい姿」が記載されていることから、戦略においても参考1（P49）に記載しました。観光客と地域との交流の促進や持続性の高い観光の実現といった課題に対し、取組を進めてまいります。
京なび	京なびはどのような仕組み・組織であり、どのような方向性（位置づけ）を想定しているのか。また、開始時間を8時30分から8時としていただきたい。	京なびは、府域・市域、日本人・外国人を問わずワンストップで総合的に観光案内を行う施設として、平成22年3月に京都府と京都市が共同で設置した総合観光案内所です。引き続き、観光客の利便性や満足度の向上を図ってまいります。
観光客の増加	観光客の増加に対応する、医療、衛生的な環境、観光スポットと市民生活の乖離などの分野での将来像が見えてこない。京都府総合計画で北山エリア整備計画は観光と結び付けられているが、植物園も府立大学も教育として検討されるべきではないか。	ご指摘のとおり、観光地の過度の混雑は、観光客の満足度を低下させるとともに、地域住民の生活にも影響を与えると考えております。戦略にも「地域社会と観光が共生する持続可能な観光地域づくりが実現できるよう」（P24）、事業に取り組む旨を記載しているところであり、観光客の集中を避ける取組の検討などを進めてまいります。